

● 各項目の記入方法（変更されました！） \*①から⑫までは p.9 の番号と一致しています。

①「事業の種類」は、日本標準産業分類の中分類に応じて記入してください。

②「ばく露作業報告対象物の名称」は、3に掲げる報告を行う物(以下「ばく露作業報告対象物」という。)の名称を、③「コード」の欄は、労働安全衛生規則第九十五条の六の規定に基づき厚生労働大臣が定める物等（平成 18 年厚生労働省告示第 25 号）に掲げる区分に応じて該当コードを、それぞれ記入してください。

③「対象物等の用途」は、ばく露作業報告対象物又はこれを含有する製剤その他の物（以下「ばく露作業報告対象物等」という。）の用途ごとに、別表 1 に掲げる区分に応じて該当コードを記入してください。

④「ばく露作業の種類」は、ばく露作業報告対象物等を製造し、又は取り扱うことによりばく露するおそれのある作業(以下「ばく露作業」という。)について、別表 2 に掲げる区分に応じて該当コードを記入してください。ただし、コード 30 から 49 までに掲げるばく露作業の種類のいずれにも該当しない場合は、コード 50 に、具体的なばく露作業の種類を記入してください。

別表：1

コード	用途
01	ばく露作業報告対象物の製造
02	ばく露作業報告対象物を含有する製剤その他の物の製造を目的とした原料としての使用（コード 11 に掲げるものを除く。）
03	製剤等の性状等を安定させ、又は変化させることを目的とした、触媒として、又は安定剤、可塑剤、硬化剤、難燃剤、乳化剤、可溶性剤、分散剤、加硫剤等の添加剤としての使用
04	溶剤、希釈又は溶媒としての使用
05	洗浄を目的とした使用
06	表面処理又は防錆（せい）を目的とした使用
07	顔料、染料、塗料又は印刷インキとしての使用
08	除草、殺菌、殺虫、防腐、漂白、脱臭、剥（はく）離等を目的とした使用
09	試薬としての使用
10	接着を目的とした使用
11	建材の製造を目的とした原料としての使用
12	その他

別表：2

コード	ばく露作業の種類
30	印刷の作業
31	掻（か）き落とし、剥（はく）離又は回収の作業
32	乾燥の作業
33	計量、配合、注入、投入又は小分けの作業
34	サンプリング、分析、試験又は研究の作業
35	充填（てん）又は袋詰め作業
36	消毒、滅菌又は燻（くん）蒸の作業
37	成型、加工又は発泡の作業
38	清掃又は廃棄物処理の作業
39	接着の作業
40	染色の作業
41	洗浄、払しよく、浸漬又は脱脂の作業
42	吹付け塗装以外の塗装又は塗布の作業
43	鑄造、溶融又は湯出しの作業
44	破碎、粉碎又はふるい分けの作業
45	はんだ付けの作業
46	吹付けの作業
47	保守、点検、分解、組立又は修理の作業
48	めつき等の表面処理の作業
49	ろ過、混合、攪（かく）拌（はん）、混練又は加熱の作業
50	その他

⑤「対象物等の名称」は、ばく露作業報告対象物等の名称を記入してください。

なお、ばく露作業報告対象物を含有する製剤その他の物（以下「対象物含有製剤」という。）の名称については、事業者が当該対象物含有製剤の用途、一般名等をもとに、「めっき液」、「シンナー」、「接着剤」等と適当な名称を記入してください。

⑥「年間製造・取扱量」は、報告の対象年におけるばく露作業報告対象物の製造量又は取扱量について、以下の 1. から 6. のうち該当する番号を記入してください。

なお、対象物含有製剤を製造し、又は取り扱う場合におけるばく露作業報告対象物の製造量又は取扱量は、当該対象物含有製剤ごとの製造量又は取扱量にばく露作業報告対象物の含有率を乗じて算出してください。

(1. 500kg 未満 2. 500kg 以上 1t 未満 3. 1t 以上 10t 未満 4. 10t 以上 100t 未満 5. 100t 以上 1000t 未満 6. 1000t 以上)

⑦「作業 1 回当たりの製造・取扱量」は、作業 1 回当たりのばく露作業報告対象物の製造量又は取扱量について、固体は質量を、液体は体積を、気体は当該物質が液化する温度下における当該物質の体積を、それぞれ算出し、次に掲げるもののうち該当するものを記入してください。

なお、対象物含有製剤を製造し又は取り扱う場合のばく露作業報告対象物の作業 1 回当たりの製造量又は取扱量は、当該対象物含有製剤ごとの作業 1 回当たりの製造量又は取扱量にばく露作業報告対象物の含有率を乗じて算出してください。「作業 1 回」とは、ばく露作業を開始してから当該ばく露作業を中断し、又は終了するまでの間です。

(1. 1kg 未満又は 1ℓ 未満 2. 1kg 以上 1t 未満又は 1ℓ 以上 1kℓ 未満 3. 1t 以上又は 1kℓ 以上)

